

創業45周年記念企画 サウンドマスターたちが語る オーディオクエストの真髄

米国を代表するケーブルブランドのひとつであるオーディオクエスト。同社は1980年に創業を開始し、今年で45周年を迎えることとなった。現在の日本でのディストリビューターはディーアンドエムホールディングスであり、2003年に日本マランツ(株)が取り扱いを開始してから、実に22年にわたることになる。そこで本企画では創業45周年を迎えたオーディオクエストのケーブルブランドとしての魅力をクローズアップしていく。レポートを担当するのは岩出和美氏。本誌の編集者時代には実際に本社への取材も行っており、昨年秋には創業者にして代表のウィリアム・E・ロウ氏とも久々に対談。改めて同ブランドのケーブルに興味を抱きはじめた。そこで本項では岩出氏がディーアンドエムホールディングスを訪問。同ブランドのケーブルを実際に愛用するデノン、マランツの両サウンドマスターの試聴室を訊ね、その魅力を伺っている。

20ドルで買えるケーブルこそが
オーディオクエストの本質



Text by
岩出和美
Kazumi Iwaida
Photo by 君嶋寛慶

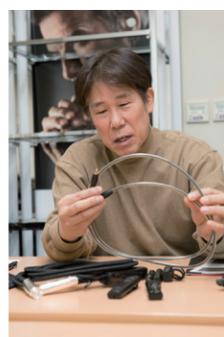
かつてオーディオクエスト社を訪ねたことがある。ウエストコーストのアーバインに社屋があった。社長のウィリアム・E・ロウ(以下ビル・ロウ)にも過去2回ほど会っている。それだけ私にとって思い入れの深いブランドである。今回のテーマは「オーディオクエスト45周年」ということで、輸入元のD&Mの方々に登場して頂き、オーディオクエストの魅力について貰う。最後はビル・ロウご本人の登場だ。

まずはD&M社広報担当の方の解説をもとにオーディオクエストはどんなブランドか記しておきたい。

オーディオクエストの創業は1980年にさかのぼる。西海岸で、オーディオの機器の販売を生業としていた、ビル・ロウは早くからケーブルの重要性を認識していた。1978年に後にモンスターケー



ディーアンドエムホールディングスにてまずはオーディオクエスト45周年の歴史と今を振り返る。現在は実に世界の74カ国で販売される一方で、B&Wの研究所でもオーディオクエストのケーブルを採用。音のプロたちにも選ばれている



2003年のマランツでの取り扱い開始当時からAudioQuestを担当する狩野徹也氏

ブルの総帥となるノエル・リーの手を借り、最初のケーブルの販売を開始することになる。これが評判を呼び1980年にブランド誕生となった。そのきっかけとなったのがビルの思い、20ドル(当時)で買えるコンポはケーブルしかならないことだった。この視点がファンに大いに受けたいらしい。

強く取り回しがしづらいのは機械的安定度を重視するため

当初ビルはケーブルの機械的安定度に着目した。それはデモで明らかになったことだが、同じ導体でも柔らかな被覆と堅い被覆を比べると圧倒的に後者が優れる、ということだった。オーディオクエストのケーブルは強く取り回しがしづらい、というのはそれ

が発端である。ビルは実際の試聴体験を優先し、その後理論付けを行うのが常である。やはり初期にはブームボックス(ラジカセ、ミニコン)での試聴デモをよくやっていたという。つまり安価な普及品でもケーブルによって変わることを、ケーブルでお金をかけずに性能改善ができることを認知させたわけだ。単にハイエンドの人ではないのである。

進化を続けるDBSの存在 パーソナルプロセスも強化

1981年CESに初出展し、その後短期間で欧州、そして米国の各州で販路が広がった。多分な営業努力と、前述したビルのわかりやすいデモンストレーションが奏功したに違いない。「オーディオファンは理論で評価するのではなく、体験で評価する」というビルの姿勢がここで確立されたわけ



だ。以後誘電バイアスシステム(DBS)、高周波ノイズ対応のノイズ消散システム(NDS)を開発。最近では新たなメカによる、出荷前36時間のバーンインなど、常に進化を遂げている、というのが大まかな歴史だ。



1980年、オーディオクエスト創業当時のウィリアム・E・ロウ氏

デノンサウンドマネージャーが語る

オーディオクエストの魅力

(山内慎一氏)

前後のフォーカスが非常に安定全ジャンルで二貫したポリシー

すでに長くオーディオクエストのケーブルを試聴室で使っているらしい。そこで率直に言っている魅力はどこにあるのか、そしてどんなモデルを使っているのだろうか。

山内「オーディオクエストはかれこれ10年ほど、丁度サウンドマネージャーを引き継いだ頃から使っています。最初に使ったのはスピーカーケーブルでオークというモデルでした。その後2019年

くらいにウィリアムテルのシルバータイプを使い始めました。プリーメインのPMAISX Limitedを開発した時ですね。

オーディオクエストの印象というのは、音の前後関係のフォーカス表現が非常に安定していることです。奥行き感とか見通しがよく、不用意に音が散乱しないストイックな表現力があるわけです。派手さというよりもそのフォーカス感がとても使いやすい。この傾向はスピーカーケーブルだけではなく、他のケーブル、例えばデジタルケーブルでも同じ傾向にあるので、おそらく設計者が同じで一貫した思想があると思われる。

ウィリアムテルに関してはフォーカス感の良さに加えてバランスの良さも感じます。そこがポイントです。銀線のメリツトも感じます。

製品を開発する上で、使うケーブルの役割はどんなものか。

山内「製品開発を行う上での助けですね。だから、何が何でもオーディオクエストを使わねば、ということはないのです。ただ結果的に残ったのがオーディオクエストだった、ということです。この部屋を含めたマッチングとかトータルでのパフォーマンスが高くな

ポイントについて最後に聞いてみる。

山内「実はバイワイヤ接続で中高域部に使っています。低域に銅線のウィリアムテルバスを使っています。銀線はしなやかさが増す特有の魅力があり、とても気に入っています。銅は極めてニュートラルでしっかりとした低音部に魅力があります。ということでハイブリッド構成、極めてバランスの良い組み合わせだと思っています」。

ミニスター・マランツが語る

オーディオクエストの魅力

(澤田龍一氏)

何も足さない、何も引かないはマランツの設計思想と共有できる

ここで、マランツがなぜオーディオクエストを導入したのか、その経緯を、前サウンドマスターとして、同ケーブルに長く関わってきた澤田龍一氏に登場して頂いた。澤田「2001年頃、デノンと



DENON サウンドマネージャー 山内慎一氏

るものを選んだと言うことです。スピーカーケーブル以外、デノンの試聴室で使っている主なオーディオクエストのケーブルを聞いてみた。

山内「オーディオケーブルはベガサスのRCAを使っています。フォノはサンダーバード、そしてデジタル系はダイヤモンドのXLRやUSBです。電源ケーブルのケーブル部分はキンパーですね」。ウィリアムテルでの銀線の評価

AUDIOQUEST/インターコネクトケーブルの代表的ラインアップ



Dragon

RCA=¥1,584,000 / XLR=¥1,980,000(1mペア・税込)
※1.5mペア、2mペアもあり

●導体：PSS(パーフェクトサーフェスシルバー)単線●配置：ZERO-Tech(特性インピーダンスなし)●誘電体：FEPエアチューブを使用し、信号干渉を極小化●誘電体バイアス方式：72V DBS(RCA)、Dual-72V DBS(XLR)●ノイズ対策(レベル7)：PSSレイン+ZERO-TECH+72V DBS+カーボン/グラフェンメッシュネットワーク+方向制御●プラグバレル：銀メッキRFレイン●プラグ接点：赤銅の上に銀コート



Dragon Interconnectの構造



FireBird

RCA=¥913,000 / XLR=¥1,155,000(1mペア・税込)
※1.5mペア、2mペアもあり

●導体：金属 PSS(パーフェクトサーフェスシルバー)単線●配置：ZERO-Tech(特性インピーダンスなし)●誘電体：FEPエアチューブを使用し、信号干渉を極小化●誘電体バイアス方式：72V DBS(RCA)、Dual-72V DBS(XLR)●ノイズ対策(レベル6)：ノイズディスパーション セロテック+72V DBS+カーボン/グラフェンメッシュネットワーク+方向制御●プラグバレル：銀メッキRFレイン●プラグ接点：赤銅の上に銀コート



Pegasus

RCA、XLRともに¥367,400(1mペア・税込)
※1.5mペア、2mペアもあり

●導体：PSC+(パーフェクト・サーフェス・カッパー)単線●配置：ZERO-Tech(特性インピーダンスなし)●誘電体：ポリプロピレン・エアチューブを使用し、信号干渉を極小化●誘電体バイアス方式：72V DBS(RCA)、Dual-72V DBS(XLR)、レベル6ノイズ・ディシパション、6%シルバー・ドレイン、ZERO-TECH、72V DBS+カーボン/グラフェンメッシュネットワーク+方向制御●RFレイン・ワイヤー：銀メッキワイヤー●プラグ接点：赤銅プラグに銀コート



Pegasusの構造



Black Beauty

RCA、XLRともに¥182,600
(1mペア・税込)※1.5mペア、2mペアもあり

●導体：PSC+(パーフェクト・サーフェス・カッパー)単線●配置：ZERO-Tech(特性インピーダンスなし)●誘電体：フォームド・ポリエチレン(信号干渉を極小化)、レベル6ノイズディシパション、0.5%シルバー・ドレイン、ZERO-TECH、カーボン/グラフェンメッシュネットワーク+方向制御●RFレイン・ワイヤー：銀メッキワイヤー●プラグ接点：赤銅プラグに銀コート



Yukon

RCA、XLRともに¥62,700(1mペア・税込)
※0.5mペア、1.5mペアもあり

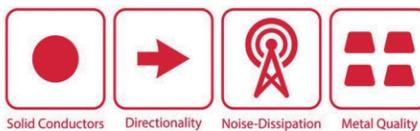
●導体：高純度銅(PSC+)●ケーブル配置：トリプルバランス構造●絶縁体：ハードセルフォームポリエチレン●ノイズ消散：カーボンベース3層NDS●ターミナル仕様：コールドウェルドハンギングシルバークーティング紫銅端子

●導体：高純度銅(PSC+)●ケーブル配置：トリプルバランス構造●絶縁体：ハードセルフォームポリエチレン●ノイズ消散：カーボンベース3層NDS●ターミナル仕様：コールドウェルドハンギングシルバークーティング紫銅端子

●導体：高純度銅(PSC+)●ケーブル配置：トリプルバランス構造●絶縁体：ハードセルフォームポリエチレン●ノイズ消散：メタルレイヤーNDS●ターミナル仕様：コールドウェルド金端子●取り扱い：(株)ディアドムホールディングス

Red River

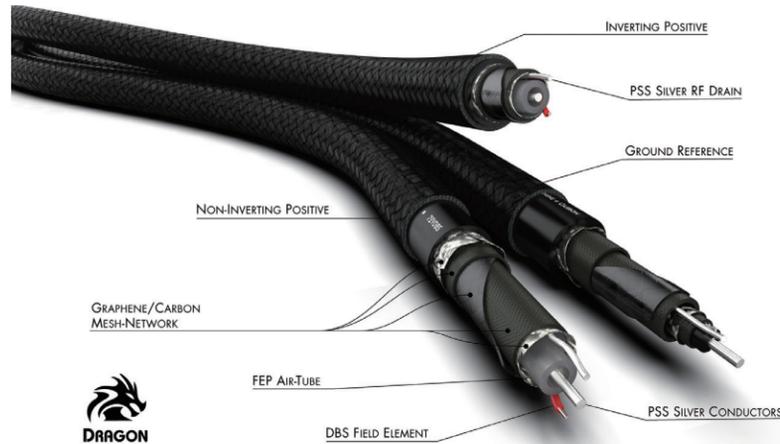
RCA、XLRともに¥25,300(1mペア・税込)
※0.5mペア、1.5mペアもあり



オーディオクエストのケーブル開発を貫かれている「四元素」



オーディオクエストが所有するバーンインシステム。時に上級モデルのケーブルは36時間以上かけてバーンイン処理を行なっている



最高峰の「ドラゴン」に採用されたレベル7のノイズ対策。ZERO-TECH+72V DBS+カーボン/グラフェンメッシュネットワーク+方向制御にPSS(Perfect-Surface Silver)ドレインワイヤを採用。「ファイアーバード」と「サンダーバード」にはERO-TECH+72V DBS+カーボン/グラフェンメッシュネットワーク+方向制御に銀メッキのドレインワイヤを採用したレベル6のノイズ対策が施される



72V誘電体バイアス・システム(DBS)。バイアス処理により誘電体ノイズを最小化することで、誘導RFノイズの広帯域な消散を大幅に改善する。XLRモデルに搭載されたDBS/バックDual-72vはバランス構造の反転・非反転のプラス信号導体間の完全な絶縁を維持する新型を採用している



ディーアンドエムのシニアサウンドマネージャーの澤田龍一氏。マランツでオーディオエクストの取り扱いを始めた当初のエピソードやブランドの魅力の魅力を語っていただく

としました。ケーブルを使えば抵抗成分など様々なロスが生じます。ビルの思想はそのロスを少なくすること、そしてロスがあつたとしても極端なバランスにならないようにするというものでした。次に、我々アンプメーカーとして、つながら先も気になるわけですが、例えば、今でもあるかも知れませんが、容量性が極端に大きく、発振につながりかねないケーブルとかですね。確かにこれらはある種の特別な音質を生み出すこともあるわけですが、我々メーカーからすると、危ういものを採用するわけには行かないわけです。オーディオエクストのケーブルを調べてみると、特性インピーダンスを含め極めてリーズナブル、危ないところのないものでした。

予算が少ない時にこそ設計技術の能力が試される。もう一つは製品ラインアップでした。当時ハイエンドに特化するブランドは多くありましたが、オーディオエクストは普及クラスからハイエンドまで、製品ジャンルも含め満遍なく製品を揃えていました。取り扱いをするにあたり、ビル・ロウはこれを聴いて欲しい、とサンプルを送ってきましたが、普通試験サンプルは、そのブランドの構造なり導体の特徴が反映されたトップエンドを送ってくるものですが、ビルが送ってきたのはミドルクラスからその下のものだった。最初は「このケチが」と思ったのですが、すぐに気がつきました。彼は、お金をかけて最上級の素材と構造を選べば、誰もそこそこいい物は作れる、本当のブランドの実力は、予算に制約のある中でも、導体や構造を吟味して最善のパフォーマンスを発揮することにありと考えたのでしよう。制約の中、何を生かして何を

省くか、それを聴いてくれと言っていたわけですね。その後いろいろ試験した結果、オーディオエクストのケーブルには一貫性があるという結論に達し導入となりました。以後尾形にサウンドマスターを引き継ぐまで、試験にはいつもスピーカーケーブルのCV6を使っていましたね。たまに最上級のエベレストをバイワイヤで使いましたが、これはある種特別な世界、普遍性がないので常時使うことはありませんでした。オーディオエクストの線材について補足してもらおう。

澤田 「方向性のある単線を使っていますが、彼は一番大事な線材の純度や結晶の大きさだけではなく、信号が多く流れる表面のスムーズさだといっています。その結果が大野博士が生み出したOCC II 大野式連続製造法のアズキャスト線でした。これは挽いていないので表面の荒れがない。表皮効果的に評価できるものです。線材に関しては銀を理想としています。銀は情報量が格段に多い反面、サウンドバランスがハイ上がりになりがちです。ビルはそれは特性的なものではなく、情報量が多いと頭のコンプューターがそう感じるのだといっています。実際

AUDIOQUEST/HDMIケーブルの代表的ラインアップ



●導体A/V導体=100% PSS/eArc導体=100%PSS/グラント=100%PSS●DBS: 72V●ノイズ消散: グラフェン+グローバルカーボンNDS 方向性制御

Dragon48

¥353,100(1m・税込)※ 2m、3mもあり



●導体: A/V導体=100% PSS/eArc導体=100%PSS/グラント=100%シルバ/グラント=10%シルバ●絶縁体: ハードセルフォーム●DBS: 72V●ノイズ消散: グラフェン+グローバルカーボンNDS 方向性制御

FireBird48

¥205,700(1m・税込)※ 2m、3mもあり



●導体: A/V導体=10%シルバ/eArc導体=10%シルバ/グラント=10%シルバ●絶縁体: ハードセルフォーム●DBS: 72V●ノイズ消散: グラフェン+グローバルカーボンNDS 方向性制御

ThunderBird48

¥103,400(1m・税込)※ 2m、3mもあり



●導体: A/V導体=0.5%シルバ/eArc導体=0.5%シルバ/グラント=5%シルバ●絶縁体: ハードセルフォーム●ノイズ消散: カーボン+メタルベースNDS 方向性制御

Vodka48

¥58,300(1m・税込)※ 2m、3mもあり



●導体: A/V導体=5%シルバ/コーティングLGC/eArc導体=5%シルバ/コーティングLGC/グラント=1.25%シルバ/コーティングLGC●絶縁体: ハードセルフォーム●ノイズ消散: カーボン+メタルNDS 方向性制御

Carbon48

¥29,700(1m・税込)※ 2m、3mもあり



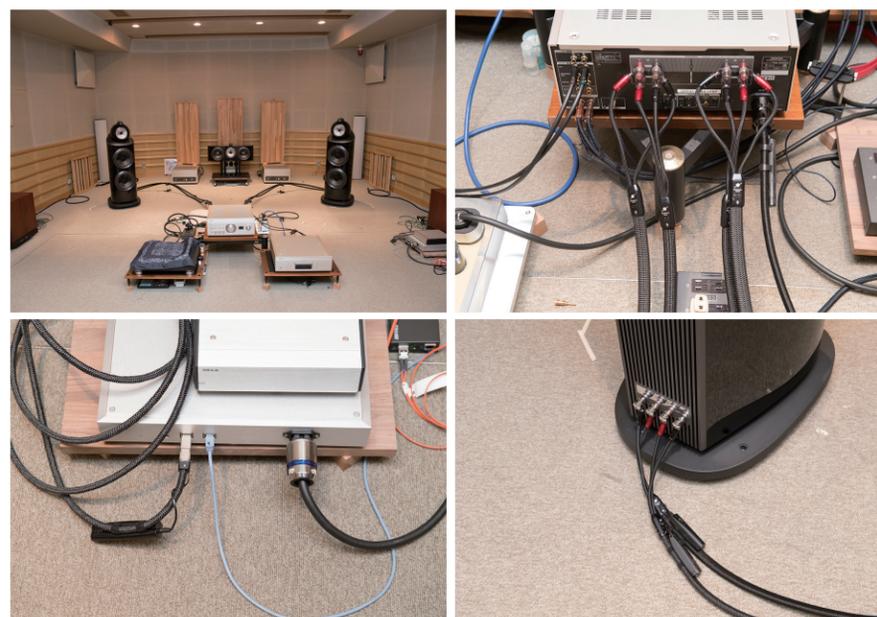
●導体: A/V導体=0.5%シルバ/コーティングLGC/eArc導体=0.5%シルバ/コーティングLGC/グラント=錫メッキ銅●絶縁体: ハードセルフォーム●ノイズ消散: 方向性制御●取り扱い: (株)ディーアンドエムホールディングス

Forest48

¥10,340(1m・税込)※ 2m、3mもあり

マランツが経営統合する頃、オーディオエクストから日本国内にもっと力入れをしたいという話がありました。B&W社のリファレンスでもあるので検討に入ったわけです。その検証の中で、ビル・ロウの説明を聞いて、これはいいブランドだと思いました。決め手になったのは以下の3点でした。

そのひとつが、彼が『ケーブルは必要悪だ。最良はケーブルを使わないこと。しかしそれは無理でケーブルは必要。であれば信号に害のないケーブルが理想。そしてケーブルが音を良くすることはない』と語ったことです。音のよくなるケーブルという売り言葉があふれる中、これは的を射た言葉だ



山内氏が手掛けるデノン・ルームでもオーディオエクストのケーブルは欠かせないツール。スピーカーケーブルは「ウイリアム・テル」のシルバー仕様とカッパー仕様をバイワイヤで使用することが多い。インターコネクトケーブルは「サンダーバード」、その他フォノケーブルには「ベガサス」と同社のアースケーブルを組み合わせている。LANケーブルの「ダイヤモンド」も愛用する

AUDIOQUEST/スピーカーケーブルの代表的ラインアップ



●導体: 銀単線(PSS)●ケーブル配置: マルチレイヤーカーボンベースノイズ消散技術●DBS: 72V DBS●ノイズ消散: カーボンベースノイズディンペーション●ターミナル仕様: AMP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)、USベード(8mm)、Vスベード/SP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)

Dragon ZERO

¥4,372,500(2.5mベア・税込)※3mベア、3.5mベア、4mベアもあり



●導体: 銀単線(PSS)●ケーブル配置: 高周波グラントノイズ消散技術●DBS: 72V DBS●ノイズ消散: カーボンベースノイズディンペーション●ターミナル仕様: AMP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)、USベード(8mm)、Vスベード/SP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)

Dragon BASS

ZEROケーブルとの組み合わせでバイワイヤケーブルとして使用 ¥3,352,500(2.5mベア・税込)※3mベア、3.5mベア、4mベアもあり



Thunderbird ZERO

¥710,600(2.5mベア・税込)※3mベア、3.5mベア、4mベアもあり※低域用の「Thunderbird BASS」もラインアップ

●導体: 高純度銅単線(PSC+)●ケーブル配置: ZERO-技術(キャラクター無しインピーダンス)●DBS: 72V DBS●ノイズ消散: カーボンベースノイズディンペーション●ターミナル仕様: AMP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)、USベード(8mm)、Vスベード/SP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)



Robin Hood ZERO

¥281,600(2.5mベア・税込)※3mベア、3.5mベア、4mベアもあり※低域用の「Robin Hood BASS」もラインアップ

●導体: 高純度銅単線(PSC+)●ケーブル配置: ZERO-技術(キャラクター無しインピーダンス)●DBS: 72V DBS●ノイズ消散: カーボンベースノイズディンペーション●ターミナル仕様: AMP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)、USベード(8mm)、Vスベード/SP END=バナナ、スベード(8mm,6mm)



Rocket 88.2

¥180,400(2mベア・税込)※1.5mベア、3mベアもあり

●導体: 高純度銅単線(PSC+)●ケーブル配置: ダブル4芯構造●絶縁体: フォームドポリエチレン●DBS: 72VDBS●ノイズ消散: カーボンベースノイズディンペーション●ターミナル仕様: 500seriesスベード/バナナ端子



Rocket 33.2

¥86,900(2mベア・税込)※1.5mベア、3mベアもあり

●導体: 高純度銅単線(PSC) / 銅単線(LGC)●ケーブル配置: ダブル4芯構造●絶縁体: フォームドポリエチレン●ノイズ消散: カーボンベースノイズディンペーション●ターミナル仕様: 300seriesスベード/バナナ端子



Rocket 11

¥49,500(2mベア・税込)※1.5mベア、3mベアもあり

●導体: 半振り銅単線(LGC)●ケーブル配置: ダブルひねり線構造●絶縁体:PVC●ノイズ消散: 方向性制御●ターミナル仕様: 300seriesスベード/バナナ端子●取り扱い: (株)ディーアンドエムホールディングス

にはそれぞれのグレードで銀線と銅線、そして太さの違いで使い分けています」。

マランツサウンドマスターが語る オーディオクエストの魅力

(尾形好宣氏)

高域から低域まで均一で見通しがいい情報量がしっかりで安心して使える

次に現在のマランツのサウンド



MARANTZ
サウンドマネージャー
尾形好宣氏

マスターの感想に移ろう。その印象は？

尾形 「2016年サウンドマスターを引き継ぎましたが、その頃にはこの試聴室ではオーディオクエストが定着していました。多くのジャンルとグレードのケーブルを聴いたわけですが、どのケーブルでも何の違和感がないというのがオーディオクエストの特質と思いました。取っ替え引っ替えして

もあまり本質は変わらない。他社では高いケーブルになるほど低音が豊かになつたりしますが、オーディオクエストにはそれがありませぬ。普及クラスでも基本的に高域から低域まで均一で、見通しがよく、情報量がしっかり取れている。安心して使えますね」。

現在試聴室で使っているケーブルは？

尾形 「バランスとRCAケーブルに関しては、最新

世代ではないですがファイアーを使っています。スピーカーケーブルに関しては、ウィリアムテルとひとつランクが下のロビンフットです。最上級ではなく、あまり高くないように気をつけています。総じてバランス良く、音痩せしない、癖のない、しかもあまりハイファイ然としすぎない組み合わせですね」。

試聴室にはB&Wの801D4

が置かれている。このリファレンススピーカーとスピーカーケーブルの相性について聞いてみた。

尾形 「このスピーカーはワイドレンジで高分解能、高度な内容を秘めたモデルです。情報を入れれば入れるほど応えてくれる能力を持ちます。忠実度が高いので、ケーブルに変な個性があるとそれをそのまま表現してしまいます。その点オーディオクエストのケーブルは癖が少ないので適合しますね」。

最後に同ブランドの特徴であるDBSの効果を知った。

尾形 「あるなしの比較をすると聴感上のS/N感が上がり、音の背景の静けさを聴くことができま

性を構築することでした。そのリスペクトというのには私や会社へ、というのではなくケーブルが重要だというリスペクトです。私はそれを実現するために、普及クラスのオーディオシステムで、実際に

デモして回り、システムの能力をケーブルが引き出すことを実証してきました」。

外目から見ても随分会社は大きくなった。

ロウ 「現在オーディオクエスト

には、ワールドワイドで130人が働いています。約半分がカリフォルニアのアーバインの本社で、残りの半分はヨーロッパで働いています。現在ハイエンドケーブルマーケットではトランスペアレントとノードストと並んで3本柱のひとつになっています」。

オーディオクエストも近年製品のグレード、ジャンルが多彩になった。特にデジタル系のUSBや光、イーサネットやHDMIは創業時にはなかったジャンルだ。会社としての姿勢の変化を聞いてみる。

オーディオの環境が変わってもファイロファイは変わらない

ロウ 「考え方は何も変わらないというのが答えです。音楽を楽しむ上で、アメリカではまだまだCDとコンパクトカセットが大きなシェアを持っています。前者は主に家庭で、後者は車やウォークマンで使われています。私の人生でウォークマンが大きな位置を占めています。ウォークマンは最初とても高かったですが、そのうちカセットテープ3個分く

ウィリアム・E・ロウ氏に聞く 45周年の歩み

ケーブルに対するリスペクトと信頼性を構築するということ

最後にウィリアム・E・ロウ氏に登場して貰おう。まずは45年前のお話から。

ロウ 「創立45周年になりますが、ブランドのポリシーに大きな変化はありません。過去を振り返ってみても、製品作りの理念とかモラルはそのまま残っています。大きく変わったのはその間に、多くの志をもつ人が集まってきて、会社が大きくなったことです。もうひとつ変わったのは、周りのケーブルに対する考え方です。創業当時は多くの方がケーブルを必要としないままでも、重要性をあまり感じていなかった。『ケーブルって重要な？』って眉唾で話す人も多かった。有名なスタンダップ・コメディアン、ロドニー・デンジャーフィールドの有名なギャグ、『私は尊敬されていない。ワイフですらも』みたいなものでした。ケーブルビジネスはニッチなマーケットです。第一の私の仕事はそのギャグではないですがケーブルに対するリスペクトと信頼

らいになり、若者が買えるようになったわけです。ということ、音楽を自由に、家庭の中で、車の中でも楽しめるようになりました。オーディオの環境が大きく変わっていき、音楽を集めていますが、音楽を聴くという意味では大きな違いはありません。ですからオーディオクエストのファイロファイは全く変わることがないのです。

例えばコーヒーに例えてみましょう。近所のスターバックスに行けば手軽に美味しいコーヒーが楽しめます。しかしたまにスペシャルコーヒーを飲むと「ワオッ」となります。オーディオもそうした側面があります。我々は、そのどちらにも最大限のパフォーマンスを発揮させるケーブルを提供するのが使命です」。

最後に次の展開に水を向けると、どうやら国内向けのパワーケーブルや、ミシカルクリヤーチャイリースで実現した外来ノイズ対策ZEROTEKノロジー(特性インピーダンスを持たない)をさらに進めて行くらしい。創立50周年にむけて期待が膨らむブランドだ。

高周波ノイズ時代の到来で新技術を次々に投入 創立50周年にむけて期待が膨らむブランドだ



AUDIOQUEST
CEO&FOUNDER
William E. Low
ウィリアム・E・ロー

AUDIOQUEST/LANケーブルの代表的ラインアップ



Diamond
¥196,900(1m) / ¥363,000(3m)税込

●導体：100% P
SS●絶縁体：ポリ
エチレン●DBS：
72V●ノイズ消散：
カーボンベース3層
NDS●ケーブル仕
様：テレガードナ
ー社高品質プラグ



Vodka
¥57,200(1.5m) / ¥88,000(3m)税込

●導体：10%シル
バーコーティング
LGC●絶縁体：ポリ
エチレン●ノイズ
消散：カーボンベ
ース3層NDS●ケ
ーブル仕様：テレ
ガードナー社高
品質プラグ



Cinnamon
¥13,200(1.5m) / ¥17,600(3m)税込

●導体：1.25%シル
バーコーティング
LGC●絶縁体：ポリ
エチレン



Forest
¥7,590(1.5m) / ¥10,560(3m)税込

●導体：0.5%シル
バーコーティングL
GC●絶縁体：ポリ
エチレン
●取り扱い：(株)
ディーアンドエム
ホールディングス

※デジタルケーブルはそのほかにUSBケーブル、同軸ケーブル、AES/EBUケーブル、オプティカルケーブルも豊富にラインアップ



尾形氏が出かけるマランツ・ルームではオーディオクエストのケーブルをフル活用。スピーカーケーブルは「ウィリアム・テル」や「ロビン・フット」を愛用。あえて最上位ではないモデルを選んでいる。インターコネクトケーブルも「ファイヤー」を使用。デジタルケーブルに関しても「カーボン」や「ウオッカ」、光ケーブルも含めてあらゆるジャンルでオーディオクエストのケーブルを使用している